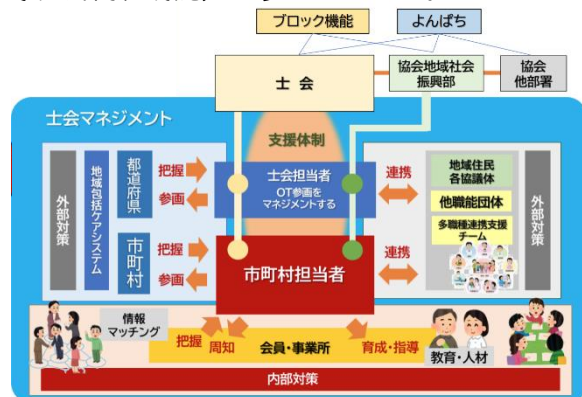


2024年度 第1回地域事業支援会議 長野県士会版

人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法

2024年度の第1回目となる地域事業支援会議が、7月20日(土)午前中にオンラインで開催され、今回は初の試みとして、選任者と聴講者に加えて各士会から士会長（またはそれに準ずる代理の役職者）にも参加をいただきました。総勢200名近くの方が参加される会議となり、当士会の選任者として、小淵浩平（長野松代総合病院）が参加しました。

現在、多くの市町村では、介護職員やケアマネジャー、行政担当者といった支え手の不足により、自立支援や自助・互助の地域づくりが停滞しています。特に、作業療法士の役割や事業への適応に関する情報不足が大きな課題です。今年度は第四次作業療法5か年戦略の2年目であり、地域社会振興部が担う重点活動項目として、「地域で暮らすすべての人々を対象として、人々の活動と参加を支援する」および「地域における人のつながりや人と社会のつながりを創り出す」ことが挙げられています。これにより、作業療法のニーズに応えることが求められています。市町村担当者配置事業は、士会マネジメント事業の大きな柱の一角です。今回の会議では、改めて作業療法の必要性を確認し、市町村配置事業の役割を明文化し、今後の活動展開を確認する機会となりました。



各事業の報告 全国の地域課題に作業療法で応える

1. 1724の市町村担当者配置事業について

2023年度は約25% → ※目標 2024年度50%, 2027年度80%
当事業は士会内のマネジメント力を高めるための土台となる組織戦略と考えています。

【明文化された内容】※「定義」→「役割に」言葉が変更
全国約1700の市町村それぞれにおいて特定の市町村を担当する会員であり、子供から高齢者まで、障がいのあるなしに関わらず、市町村のニーズに応えるべく様々な場面に作業療法士が専門職として参画しやすい環境をつくるために活動する者を指す。

【配置方法・具体的な役割・その他】

- ・ 士会の状況を踏まえて独自にマネジメントした結果、士会毎に決まる。
- ・ 「市町村担当者」が日本作業療法士協会市町村担当者配置事業で使用している名称であることが分かるよう、あるいは誤解がないような配慮をするために「市町村担当者（日本作業療法士協会市町村担当者配置事業）」を基本とする。

2. 士会マネジメント事業について

【地域支援事業参画のための士会マネジメント事業】

全国約1700の市町村へ作業療法を届けるための「地域支援事業への作業療法士参画を推進するための具体策集であるQ&A集を作成中です。

今後も、地域支援事業に関する士会活動のマネジメントについて、考え方や具体的な方法、実際の活動例を、全国で活動されている会員の皆様からの情報をもとに提示してまいります。さらに各士会活動の推進につなげていけるよう、情報の提供、共有のための協会の活動にご協力をお願いいたします。

【取り組み内容】

- * 調査事業と協力しアンケートの実施
- * 士会選任者と士会長との進捗状況の共有の場を設定

3. 地域づくりに資する作業療法士参画モデル事業について

作業療法士が参画することでの効果を示す目的である当事業について、2024年～2025年度で最大3事業の採択で募集を行った結果、21事業の応募がありました。本当にありがとうございます。採択にならなかった事例についても、ぜひ活用をしていくために士会マネジメント事業等で検討しております。

編集後記

2024年度7月より長野県作業療法士会 地域包括ケアシステム推進委員会の委員長を務めることになりました、長野松代総合病院の小淵浩平と申します。いち医療機関所属でまだまだ知識の浅いところがありますが、私自身実際に地域事業に関わる機会も増えており、長野県内で作業療法士が関わる地域事業を少しでも推進できればと思っており、よろしくお願いたします。全国会議に初めて参加した率直な感想は、残念ですが長野県は他県と比較して大きく遅れをとっている印象です。ですが、長野県ならではの取り組みを丁寧に進めていくことで、十分挽回できると考えております！

まずは、県内の様々な地域で、地域事業を実践されている作業療法士を繋ぐ1年にできればと考えております。そして二次医療圏ごとの担当者を配置できればと思います。今年度からいくつか企画も計画しておりますので、長野県民に少しでも作業療法士が貢献できるよう、ご協力と、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

長野県作業療法士会 地域包括ケアシステム推進委員会 委員会：小淵浩平